**「台風19号」市内に甚大な被害　早期復旧に全力**

被災された皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

市では、一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでいきます。

**台風19号の猛威**

　観測史上最大級ともいわれ、全国に甚大な被害を及ぼした台風19号。本格的な接近前から、経験したことのない大雨・暴風に備え、あらゆる対策が急ピッチで進められましたが、全国で河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、多数の死者・行方不明者、浸水被害など、多大な影響が出ています。

**降り続いた豪雨の影響**

　本市では、早めの避難を呼びかけるため、10月12日午前10時に避難所を開設。同日午後3時には「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」を発令しました。

　夕方ころから徐々に雨脚が強まり、13日午前0時30分には大崎市全域に、数十年に一度の大雨が予想されるとして「大雨特別警報」が気象庁から発表されました。

　断続的な豪雨に伴い、土砂災害や洪水の危険性が非常に高くなり、13日午前1時には、市内全域に「警戒レベル4 避難指示」を発令。午前3時頃には、鳴瀬川、渋井川が氾濫危険水位を超え、越水の危険性があるため、三本木地域、古川地域志田地区、渋井川沿川に対し、緊急放送を行いました。午前3時45分、鹿島台地域上志田地区で吉田川から、午前4時頃には、古川地域西荒井地区で渋井川から越水が確認され、命を守るための最善の行動を促す「警戒レベル5 災害発生情報」を発令しました。

　同日午前7時50分頃には、大郷町粕川地内で吉田川が決壊し、下流の鹿島台地域志田谷地地区の広範囲に浸水被害が発生。家屋に取り残され、自衛隊などによる救出活動まで、約50人もの住民が不安な時を過ごしました。

　住宅の浸水被害は、市内全域で、床上浸水４２０件、床下浸水３３９件（10月18日現在の推定値）にも及び、最大19カ所の避難所を開設し、最多１６３５人の皆さんが避難を余儀なくされました。

　また、地盤が緩んだ複数の箇所で土砂崩れが発生し、流出した土砂が道路を寸断、農地では、大豆や水稲など農作物の浸水被害がでるなど、生活が一変する大きな被害を受けました。

**復旧・支援に全力**

　10月18日現在、国土交通省、農林水産省からポンプ車が配備され、懸命な排水作業が進められています。

　市では、被災された皆さまの心と体のサポートを最優先に、避難所の運営や、各種支援制度を受ける際に必要となるり災証明書の発行、応急避難に伴う民間賃貸住宅家賃の助成などに、全職員であたっています。

　支援情報の詳細は、今月号の広報おおさき別冊や市ウェブサイトをご覧ください。

　被災された皆さまが一日でも早く安心した生活を取り戻せるよう、総力を挙げて災害対応に取り組んでいきます。

**写真の説明**

①広範囲に浸水した鹿島台志田谷地地区。浸水前は稲刈り後の田園が広がっていた、②古川西荒井地区の浸水状況。写真手前は堆積する流された稲わらなど、③古川高倉地区名蓋川の決壊現場。大量の水が流出、④古川西荒井地区の堤防崩壊現場、⑤・⑥鹿島台志田谷地地区。住居の1階やハウスの大部分が水に浸かった、⑦自衛隊による救助活動。現場の鹿島台上志田行政区は吉田川が決壊した大郷町粕川地内と隣り合う、⑧浸水の影響で農作物に甚大な被害。鹿島台志田谷地地区で稲杭が無残に倒れた様子、⑨避難所の旧鹿島台第二小学校に身を寄せる住民。（①～⑦10月13日・14日撮影、⑧・⑨10月18日撮影）

**市内の被害状況（10月18日午前9時現在 一部抜粋）**

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 件数 |
| 避難所 | 人数（最多） | 1,635 |
| 現在（最多） | 150 |
| 人的被害 | 重症 | 0 |
| 軽症 | 1 |
| 住家 | 床上浸水（推定） | 420 |
| 床下浸水（推定） | 339 |
| 公共施設 | 学校教育 | 7 |
| 社会教育 | 11 |
| 保育所・児童センター | 4 |
| 市営住宅 | 21 |
| その他 | 17 |
| 農業関連 | 農作物（ha） | 1,412.2 |
| パイプハウス（ha） | 10 |
| その他 | 181 |
| 観光関連 | 観光施設 | 4 |
| その他 | 4 |
| 道路 | 通行止め（最大） | 177 |
| その他 | 倒木 | 101 |
| 土砂崩れ | 181 |
| その他 | 207 |
| 停電 | 停電世帯数（最大） | 920 |
| 現在 | 0 |

※被害状況の全容は現在調査中です。